

## 5 保健科学部門 生活科学担当

生活科学では県民の衣食住にかかる行政検査、依頼検査、調査研究を実施している。野菜、果実中の残留農薬や畜水産物に残留する動物用医薬品や汚染物質 また、健康食品や違法ドラッグ中の無承認無許可医薬品などの検査を実施し、食品や医薬品の表示等を科学的に評価し、安全性を検証している。

本年度は食の安全・安心を脅かす事件が頻発し、中国製の冷凍餃子中毒事件に関連した加工食品等中の農薬の検査を実施した。

	事業名・検査項目	検体数	項目数	備考
食品衛生検査事業	輸入食品の衛生対策事業・残留農薬	49	8,439	農薬 171～173 成分
	〃 ・防黴剤	8	24	オルトフェニルフェノール, ジフェニール, チアベンダゾール等
	〃 ・食品添加物	25	105	保存料, 着色料, 酸化防止剤等
	食品添加物規格試験	7	53	県内製造食品添加物について, 食品添加物公定書に基づく規格試験(安息香酸, 安息香酸ナトリウム, 粗製海水塩化マグネシウム, 酸化マグネシウム, 炭酸マグネシウム, パーム油カロテン, ポリアクリル酸ナトリウム等)
	県内産農作物中の残留農薬検査事業	24	4,112	農薬 170～172 成分
	食品(魚, 肉, 卵, 牛乳等)中に残留するPCB等の検査事業	16	245	PCB, 水銀, 有機塩素系農薬等 53 成分
	畜水産食品中の残留有害物質モニタリング調査	8	224	卵, 魚について合成抗菌剤 28 成分(サルファ剤 9 種, オキシリン酸, ナリジクス酸, ピロミド酸, クロピドール, チアンフェニコール, トリメプリーム等)
	魚介類中の水銀, PCB 検査	26	39	環境管理課計画
	遺伝子組換え食品衛生対策事業	18	18	大豆加工食品について定量試験 トウモロコシ加工食品について定性試験
	アレルギー物質検査	20	20	そば, 卵
	食品検査内部精度管理	140	4,533	検査実施項目(農薬, 添加物等)
	食品検査外部精度管理(農薬) (着色料)	1 1	2 2	農薬(クロルピリホス, フェントロチオン) 着色料定性
	その他 苦情等	5	175	中国製やかん, 土鍋, 中国製冷凍食品関連検査及び有償苦情等
計	348	17,991		
医薬品・毒物劇物等検査事業	医薬品一斉取締りに伴う検査	3	22	県内製造医薬品についての規格試験
	健康食品買上げ検査 (医薬品成分の検査)	10	190	健康食品等について, N-ニトロソフェンフルラミン, フェンフルラミン, トリヨードチロニン, チロキシシン, シプトラミン, センソシド, 利尿剤, マジンドール等 19 成分
	電気メッキ事業場排水検査	3	3	遊離シアン
	計	16	215	
家庭用品衛生検査事業	家庭用接着剤中の防カビ剤検査	4	12	有機水銀化合物, トリフェニルスズ, トリブチルスズ化合物
	繊維製品・毛糸中の防虫剤検査	10	20	ディルドリン, DTTB
	計	14	32	

	事業名・検査項目	検体数	項目数	備考
生活科学 依頼検査	輸入食品の衛生対策事業・残留農薬	9	1,551	高松市依頼:農薬 170~171 成分
	〃	3	9	高松市依頼:オルトフェニルフェノール, ジフェニール, チアベンダゾール
	県内産農作物中の残留農薬検査	11	1,879	高松市依頼:農薬 170~171 成分
	食品(魚介類)中の水銀, PCB 等調査	5	10	高松市依頼:PCB, 水銀
	遺伝子組換え食品	2	2	高松市依頼:大豆製品定量試験
	その他	4	134	中国製冷凍食品関連検査
	計	34	3,619	

生活科学調査研究

調査研究名	備考
日常食品中の汚染物質摂取量調査 食品添加物一日摂取量調査(亜硫酸塩類)について	協力研究(国立医薬品食品衛生研究所食品部) 〃 (国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部)

6 保健科学部門 微生物担当

微生物は、細菌、ウイルス、真菌、原虫、衛生害虫等の多岐に亘る分野を担当しており、食品衛生・食中毒・有症苦情・感染症など、県民生活に係わる行政検査、それらに関連する調査研究並びに行政機関及び一般からの依頼検査を実施した。

1 細菌関係

(1) 食品細菌

①食品衛生に係る事業

調査事業名	検体数	項目数	備考
腸炎ビブリオ食中毒防止対策事業	40	80	カレイ, コノシロ等のビブリオ汚染調査 (腸炎ビブリオ NAGビブリオ)
カンピロバクター等汚染状況実態調査事業	36	108	食鳥肉等の汚染調査(細菌数 カンピロバクター サルモネラ属菌)
輸入食品の食品衛生対策事業	26	65	輸入チーズ, 漬物原料, 瓶詰め食品等 (細菌数 大腸菌群 ボツリヌス菌 リステリア菌 腸球菌 緑膿菌 残留抗生物質)
腸管出血性大腸菌 O157 汚染実態調査	15	15	腸管出血性大腸菌 O157
サルモネラ属菌血清型別	1	1	サルモネラ属菌

②乳肉衛生事業

調査事業名	検体数	項目数	備考
畜水産物中の残留抗生物質検査	24	24	鶏卵, 養殖魚
ナシフグ毒性検査	30	30	香川・岡山両県の瀬戸内海域産ナシフグの 安全確認調査

③食中毒・有症苦情調査

調査事業名	検体数	項目数	備考
細菌性食中毒・有症苦情	394	8,343	腸炎ビブリオ サルモネラ属菌 病原性大腸菌 等食中毒起因菌 21 種 細菌数 大腸菌群等
ウイルス性食中毒・有症苦情	165	498	Norovirus Adeno40/41 Rota A
苦情食品	1	1	真菌( <i>P.citrinum</i> 群, <i>A.niger</i> 群)
レジオネラ症関連調査	15	41	レジオネラ属菌 一般細菌数 大腸菌群 アーバ

## ④研究事業

事業名	検体数	項目数	備考
食品由来感染症の細菌学的疫学指標のデータベース化に関する研究	10	20	厚生労働科学研究費補助金新興・再興感染症共同研究事業
食品中のリステリア菌の汚染状況について香川県におけるレジオネラ感染予防に関する研究	43 40	43 400	香川県試験研究機関共同研究

## ⑤その他

項目名	検体数	項目数	備考
水浴場調査	2	4	糞便性大腸菌 腸管出血性大腸菌 O157

## (2) 病原細菌

## ①感染症発生動向調査事業

調査事業名	検体数	項目数	備考
感染性胃腸炎	45	855	サルモネラ属菌 カンピロバクター 病原大腸菌 ブドウ球菌 エルシニア等 19 菌種
感染性髄膜炎	1	1	髄膜炎菌
サルモネラ同定	12	12	血清型別

## ②疫学調査事業

調査事業名	検体数	項目数	備考
三類感染症検査	23	23	腸管出血性大腸菌 赤痢菌
遺伝子学的疫学調査	47	47	感染症及び食中毒分離菌の PFGE 検査 (腸管出血性大腸菌 レジオネラ属菌)
薬剤感受性試験	9	9	腸管出血性大腸菌 レジオネラ属菌

## ③その他の細菌検査

項目名	検体数	項目数	備考
抗酸菌検査	2	2	結核菌及び非結核性抗酸菌

## ④クリプトスポリジウム等実態調査

調査事業名	検体数	項目数	備考
水道水源水域におけるクリプトスポリジウム等実態調査	10	20	クリプトスポリジウム ジアルジア

## (3) 依頼検査

	項目名	検体数	項目数	備考
高松市	畜水産物中の残留抗生物質検査	10	10	鶏卵
	抗酸菌検査	5	5	
一般	食品細菌検査	18	41	細菌数, 大腸菌群, 黄色ブドウ球菌等 血液製剤等(細菌, 真菌)
	無菌試験	40	40	
	衛生害虫	5	5	
	真菌同定	3	3	
	異物	1	1	

2 ウイルス関係

①感染症発生動向調査事業

疾患名	調査数	項目数	対象ウイルス
呼吸器系疾患	539	4,851	インフルエンザウイルス等 9 項目
感染性胃腸炎	123	1,230	ロタウイルス等 10 項目
無菌性髄膜炎	74	518	コクサッキーウイルス B 群, エコーウイルス等 7 項目
眼疾患	22	110	アデノウイルス等 5 項目
その他の疾患	243	2,673	ムンプスウイルス等 11 項目

②国立感染症研究所との共同研究事業 (感染症流行予測調査事業)

調査事業名	調査数	項目数	備考
日本脳炎感染源調査	0	0	JaGArO1 株に対するブタ抗体保有調査
麻疹感受性調査	187	187	ヒト年令群別抗体保有調査

③後天性免疫不全症候群予防対策事業

検査項目	検体数	項目数	備考
HIV 抗体検査	118	118	HIV-1,HIV-2 抗体検査
HIV 確認検査	—	—	HIV-1,HIV-2 確認検査

④貝毒発生監視調査に係る貝毒検査

検査項目	検体数	項目数	備考
麻痺性貝毒検査	30	30	マウス単位法

⑤健康危機管理に関する検査

検査項目	検体数	項目数	備考
積極的疫学調査(感染性胃腸炎)	7	28	ウイルス性胃腸炎 4 項目

⑥依頼検査

a インフルエンザ発生動向調査

検査項目	検体数	項目数	備考
インフルエンザ疾患	100	100	高松市依頼

b HIV 検査

検査項目	検体数	項目数	備考
HIV 抗体検査	168	168	高松市依頼
HIV 確認検査	—	—	高松市依頼

## 7 保健科学部門 臨床科学担当

臨床科学部門では、県内で生まれる約9000人の赤ちゃんのマス・スクリーニング検査を行っている。この検査はアミノ酸や糖の代謝異常、甲状腺や副腎の内分泌異常を調べるもので、これらの疾患は、放置すると心身障害をおこすが、この検査で異常を早く見つけ、早期に治療をおこなうことで心身障害を未然に防ぐことができる。

### 1. 先天性代謝異常等検査実施状況

	月	平成19年										平成20年			合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
検査実施 件数	代謝異常症	728	875	739	853	794	708	863	784	758	811	733	739	9,385	
	副腎過形成症	720	871	738	851	793	705	859	781	745	811	731	737	9,342	
	クレチン症	741	888	739	859	797	710	867	788	744	815	732	750	9,430	
再採血 検査数	代謝異常症	8	6	9	5	5	4	9	6	17	7	8	6	90	
	副腎過形成症	0	2	8	3	4	1	5	3	4	7	6	4	47	
	クレチン症	21	19	9	11	8	6	13	10	3	11	7	17	135	
	再検査 (検体不備)	19	30	18	12	27	14	18	17	26	21	30	25	257	
		1	1	3				1	1		2		2	11	
実施実人員数		701	839	712	836	762	690	836	761	715	783	695	708	9,038	
要精検者数	代謝異常症			2				1		1			1	5	
	副腎過形成症					1				1	1	1		4	
	クレチン症	1	1	1		1			1	2	2	1	4	14	

### 2. 先天性代謝異常検査等での治療児依頼状況(平成19年度)

事業名・検査項目	依 頼 数	
	検 体 数	実 施 人 数
フェニールケトン尿症	38	4
メープルシロップ尿症		
ホモシスチン尿症		
ガラクトース血症	5	3
クレチン症	1	1
副腎過形成症	1	1
合 計	45	9